

## 緑の雇用担い手対策事業（継続）

【平成19年度概算決定額 6,700,000（6,700,000）千円】

### 事業のポイント

森林の保全・整備に意欲を有する若者等に対して、安全で効率的な林業の実施に必要な技術と技能を付与することにより、林業への就業と地域への定着を進めます。

（林業就業者の現状）

- ・林業就業者数は減少傾向にあります。 H12：6.7万人 → H17：5.2万人
- ・65才以上の高齢者の占める割合も高まっています。 H12：25% → H17：28%

### 政策目標

新規林業就業者を確保・育成します。  
〈研修終了者の本格就業移行率 80%〉

### <内容>

U・Iターン者等林業就業に意欲のある若者等を対象として、

- ① 林業事業体による林業就業に必要な技能・技術を付与するための実地研修
- ② 研修生の募集、相談会等の実施
- ③ 森林施業等専門的な技術に関する集合研修
- ④ 実地研修における安全確保のための巡回指導
- ⑤ 労働安全の専門家の指導の下で、かかり木や風倒木などの危険木を安全に処理する技術等に関する技術高度化研修

を実施し、林業への新規就業者の確保を図ります。

### <補助率>

定額

### <事業実施主体>

全国森林組合連合会

### <事業実施期間>

平成18年度～22年度（5年間）

[担当課：林野庁経営課]